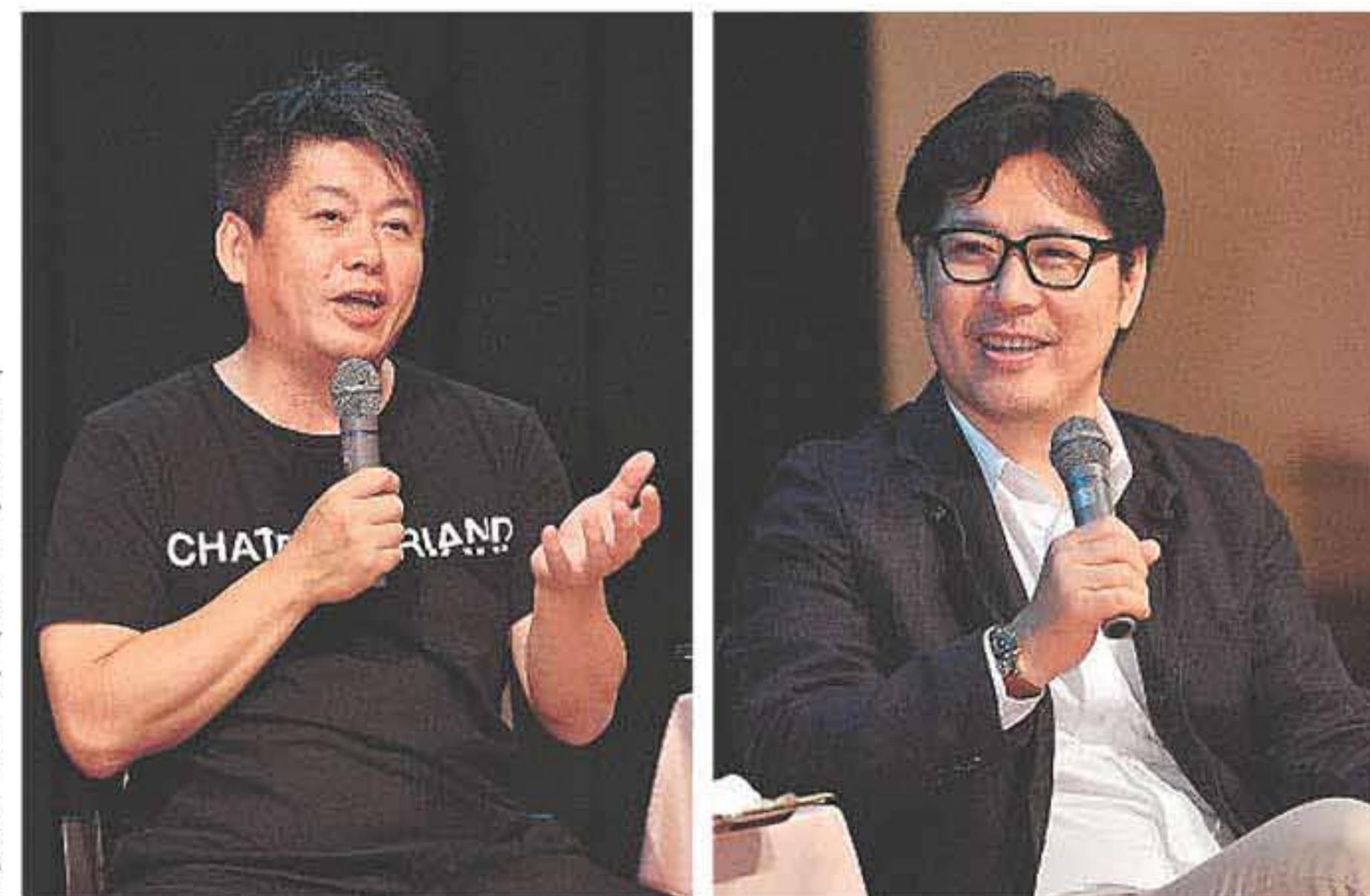


群馬イノベーション会議

起業への思い熱く

群馬イノベーションアワード（GIA）2019の幕開けを告げる群馬イノベーション会議が開かれた16日、実業家の堀江貴文さんと、GIA実行委員長でジンズ（前橋市）CEOの田中仁さんが起業や地方活性化への思いを語り合った。対談は「『ゼロ』から始めて、『好き』に生きる」がテーマ。ユーザベース共同創業者の新野良介さん（高崎市出身）が進行を務めた。



堀江貴文さん

田中仁さん

馬イノベーションスクール（GIS）で学んでいる

GIA2019は7月1日～9月16日にエントリーを受け付ける。1次、2次審査を経て、12月7日にヤマダグリーンドーム前橋でファイナルステージを行う。

などと近況を報告した。

堀江さんはおとぎ話「桃太郎」を引き合いに、「大きい桃が流れて来れば、気持ち悪くて十中八九は見過ごす。おばあさんは相当なベンチャー精神がある」と持論を展開。その上で「インターネットもロケットも

成功するまでは、桃。桃はよく流れているけど、それに反応できるかが勝負。とりあえずやってみることが大切」と強調した。

懇親会では前回のGIA2018で大賞に輝いた福島直さんらが「（ビジネスプランを）事業化するためにはどうすれば良いかを、群

田中さん　自分に正直に 堀江さん　まず反応する

目の前に流れている桃を捨てこと、行動力を心掛けて」と来場者に呼び掛けた。議論を総括した新野さんは「既成概念にとらわれず、徹底的に動き、仲間を大事にすることが堀江さんのやり方だと感じて刺激を受けた」とした。



田中さんの発声で乾杯する出席者